

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2012年03月05日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000065"/>	整理番号 <input type="text" value="11464"/>	担当者 <input type="text" value="井上 典之"/>
表 題	<input type="text" value="シェル状顆粒又はその凝集体"/>		
技術分野	<input type="text" value="無機材料"/>	<input type="text" value="歯科"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="生体材料, 骨補填材, 土木用補填材, 水害対策品"/>		
目 的	<input type="text" value="骨補填用材料には, 現在セメント状材料と固体・顆粒状材料が存在している。しかしセメントは, 流動体であるため自由な賦形性を有しているものの, 硬化終了時間まで外力によって変形の危惧がある。一方, 顆粒状材料は個々の粒子間の結合がないため賦形性に乏しいが, 機械的強度には優れている。これらの長所を合わせ持つ材料の開発を目的とした。"/>		
技術概要	<input type="text" value="水硬性粉末生体材料を同材料で形成した粒径が数mmのシェル状構造物中に封入したものを作製した。このシェル状構造物は, 突起状形状をなしており, お互いに嵌合し凝集体となることによってセメント状材料の初期の賦形性を向上させており, また, シェル状壁が外力で破壊されることによって水硬性粉末生体材料が外部に放出されてセメント様硬化反応を示し, 凝集部を化学的に硬化・連結することで機械的強度を向上させる。この材料の粒径を数百倍のスケールで作製することで, 水の存在下で外力が加わった部位がセメント状に硬化する土嚢や充填物のフィラーとしての応用も可能である。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp